

令和7年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【学校像】伝統ある普通科高校として、次の学校をめざす。 ・学力の定着と希望に応じた進路実現をサポートする学校 ・「自律・敬愛・共創」を育てる学校 ・地域に信頼され、誇りとされる学校 【育てる力】授業・学校行事・部活動・地域連携等を通じて、次の力を育む。 ・確かな学力とキャリアデザイン形成力 ・自分の立てた規律やマナー意識に従って正しく行動できる力、自分や他者を大切にし、相手を敬い親しみの心を持ち、協力や共働しあえる力 - 自ら学ぶ意欲を持ち、多様な立場の人たちと対話しながら、新しい価値を共に創り上げていける力 ・豊かな人間性と健やかな体を備えた人間力
--

2 中期的目標

1 学力向上と進路実現

- （1）学習指導要領と本校の実情を踏まえ、「確かな学力」の育成と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
 - ア 各教科の授業において観点別評価に基づいた授業づくりを推進し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成する。
 - イ 校内・校外研修や授業相互の研究授業を実施し、授業を評価・検証する授業改善に努め、生徒授業満足感を向上させる。授業の質の向上のため「魅力的な授業」「わかる授業」をめざし、指導と評価の一体化を通じて学習指導の在り方を見直し、授業の改善をする。
 - ウ 各教員が主体的に授業を研究し、授業形態の工夫や ICT 機器の積極的な活用等により授業改善を図る。
- （2）グローバル社会を生き抜く力の育成のため、英語教育の充実を図る。
 - ア 学習指導要領を踏まえ、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の5領域及び複数領域を結び付けた統合的な言語活動を充実させ、英語運用能力を育成する。
 - イ 「学習基礎」の英語ディクテーション学習で「聞くこと」「書くこと」、「英語多読・多聴ステーション」で「読むこと」「聞くこと」を身につけさせる。
 - ウ 海外語学研修や海外高校生とのオンライン交流、校内英語行事など、生の英語に触れる機会を設ける。
- （3）生徒の進路希望を実現させる。
 - ア 進路目標に応じたコース（Ⅰ型文系・Ⅱ型理系）の指導を強化し、入試結果の向上をめざす。
 - イ ガイダンス機能の充実を図り、生徒及び保護者への情報提供を増加させ、進路実現につなげる。

2 未来を担う「自律・敬愛・共創」を備えた人材育成

- （1）「自律・敬愛・共創」の資質と能力を養うため、「総合的な探究の時間」を推進する。
 - ア 学年、分掌、教科、教員個人の実践やスキルから情報を共有し、教科・科目の枠を超えて学習の基盤となる資質・能力を育まれるよう、教員が一体となった指導体制を確立し、企画立案・実践して進める。
 - イ キャリア教育、課題解決学習など課題を探究する中で、他者と協働して課題を解決しようとする活動や、情報収集、整理・分析、まとめ、表現する活動を実践させていく。
 - ウ お互いを大切にする態度の育成をめざす「人権教育」、人間としての在り方生き方について考えを深める「道徳教育」を中心に、人間、生命や自然を尊重する精神、規範意識、自らを律し他人を思いやる心、公共の精神など豊かな人間性を育む「心の教育」を充実させる。
- （2）国際化が進展する中、SDGs の視点も踏まえグローバルな課題解決にむけ、自らの役割を考え、行動できる人材育成に努める。
 - ア 国際関係機関との連携や海外の学校との交流を通じて国際理解を深め、コミュニケーション能力を育成する。
 - イ 国際交流活動を通じて、諸外国の異なる文化や習慣について理解を深め、互いに違いを認め合い、共に生きていく力、自分の意思を表現できる力の育成に努める。
 - ウ 国際社会において主体的に行動するため必要と考えられる態度・能力の基礎を育成するよう、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び課外活動と連携をとりながら進める。
- （3）読書活動の推進を図る。
 - すべての生徒が読書への興味・関心を高め、必要な知識を得て、楽しみながら読書活動ができるよう図書館運営協議会が中心となり、新聞発行や読書イベントを活用し、読書活動が少ない生徒も本に興味・関心を持つよう、読書活動の普及啓発及び推進を図る。

3 府民に信頼される魅力ある学校づくり

- （1）一人ひとりの教育的ニーズに応じた生徒支援体制の確立及び生徒指導の充実
 - ア 不登校傾向の生徒の早期発見・早期対応に努め、校内における支援相談体制の充実を図る。「高校生活支援カード」「個別的教育支援計画」等を活用して適切な指導・支援につなげ、家庭と連携しながら関係機関と連携して取り組む。
 - イ 自治会活動の充実を図り体育大会・文化祭等の諸行事は、生徒の主体性と自立性を活性させ充実感を育むとともに、地域や保護者との交流を通して信頼関係を深める。また、部活動を活性化し、バランスのとれた心身の成長と健全な人間関係を形成する力の育成を図る。
 - ウ 生徒指導のあらゆる場面で基本的生活習慣の確立に努め、規範意識やマナー意識、あいさつ等、自他を思いやる心を醸成する。また、遅刻数の減少や自転車事故等の事故防止に重点を置く。
- （2）教職員の資質の向上と学校組織づくり
 - ア 教員の意欲が向上し、より主体的に動き、全体の指導力向上ができる教員集団を育成し、生徒の満足感につなげる。
 - イ 組織的・効率的で、相互に高め合う円滑性のある職場環境づくりを進める。
 - ウ 働き方改革の取組みとして、教員が生徒に対応する時間や自ら資質・能力の向上を図る時間を確保・充実できるよう、業務の効率化、在校等時間管理、校務における ICT 活用の推進、部活動の適正化を促進し、意識の改善を促し定着する学校運営を図る。
- （3）開かれた学校づくり
 - ア 生徒や保護者、地域との連携を図り、それらの意見を学校運営に反映させていく開かれた学校づくりへ向けた取り組みを進める。
 - イ 様々な教育活動に関する情報については、WEB ページ等を通して保護者等へ発信し、積極的な情報提供や広報活動、ボランティア活動などを展開する。
 - ウ 伝統ある高校の良さを継続、歴史ある地域との関係性を大切にし、地域との連携行事や交流活動に取組み、府立学校の魅力づくりと効果的な情報発信を活性化する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析[令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R6 年度値]	自己評価
1 学力向上と進路実現	(1)「確かな学力」の育成と授業改 ア「観点別評価」の授業づくりを推進	ア・授業向上委員会と各教科が連携し、授業アンケート、学校教育自己診断等、結果を分析し課題を共有し、エビデンスに基づいた授業改善を進める。 ・「ルーブリック」「振り返りシート」を積極的、組織的に活用する。 ・土曜学習会、補習、講習等学習支援の取組みを充実させる。	ア・授業アンケート、学校教育自己診断(以下「アンケート」)による生徒満足度、「わかりやすい授業・教え方に工夫」昨年度以上。 [生徒満足度 86%] ・「ルーブリック」「振り返りシート」の活用率 70%目標 [53%] ・「土曜学習会」参加者数平均 100 名以上 [136 名]	
	イ 授業の質の向上と授業改善	イ・校内・校外研修や相互授業見学を通じて授業改善に努める。 ・学習指導要領に対応した授業向上委員会の研究を継続する。 ・「授業見学週間」「保護者授業参観」を実施	イ・アンケート(教員)「生徒の実態を踏まえ指導方法の工夫・改善に努める」80%以上 [88%] ・会議・研修等を 10 回以上実施する。 [会議 3 回、研修会 7 回実施] ・「授業見学週間」「授業参観」を各 1 回実施 [新規]	
	ウ ICT を活用した授業改善	ウ・電子黒板や 1 人 1 台端末のオンライン学習等の取組み実践を推進する。	ウ・アンケート(教員)「ICT 機器をよく活用している」80%以上 [教員の ICT 活用率 94%]	
	(2) 英語教育の充実			
	イ 学習基礎「聞く」「書く」に取り組む	イ・「学習基礎(朝学)」英語ディクテーション学習を推進し、「聞く」「書く」の感覚機能を活性化し、毎朝の学習を継続する。	イ・朝学習の時間は意欲的に取り組んでいる。 アンケート肯定率 80%以上。 [87%]	
	英語多読・多聴「読む」「聞く」に取り組む	・「たくさん読む」「たくさん聞く」英語学習を継続し、成果を検証し英語活用能力を育成する。	・授業で多読多聴を継続し、アンケート肯定率 90%以上維持 [95%]	
	ウ 4 技能統合して「話す」に取り組む	ウ・4 技能の「話す」力の向上をめざし、海外での語学研修や校内英語行事を計画して実施する。 ・海外語学研修、海外高校生との交流、校内英語行事など機会を設ける。 ・英語検定に積極的に取り組む。	ウ・全生徒対象スピーキングテスト 4 回実施 [4 回] ・オーストラリア語学研修 1 回実施 [1 回] ・校内英語行事 1 回実施 [1 回] ・校内英語検定 1 回 [新規] [STEP 英検 準 1 級 0 / 2、2 級 21/57、準 2 級 24/54、3 級 57/128] (合格者数/受験者数)	
	(3) 希望進路の実現 ア 進路指導を強化する	ア・「進学講習」「学習キャンペーン」等を実施し家庭学習時間の増加につなげる。 ・入学時の家庭学習時間を低下させないことを目標に学力生活実態調査等を用いて現状を把握し、学力向上に努め進路実現を図る。 ・教育産業と連携した「阿倍高塾」の授業内容の充実と「学習支援クラウドサービス」の指導充実を図る。	ア・平日の家庭学習時間 60 分以上の生徒総数が学年の過半数を占める。 [46%] ・阿倍高塾の生徒満足度 90%の維持。 [92 %] ・中堅・難関大学合格者数 170 名。 [154 名]	
	イ 進路ガイダンスを充実する	イ・対面形式での学習ガイダンス、進路ガイダンスを充実させる。 ・進路指導部からの情報発信を積極的に行い、進路実現に向けて生徒の意識の向上と保護者の理解や協力を得る。	イ・対面形式での進路ガイダンスを各学年とも 1 回以上 [新規] ・進路指導部からの保護者、生徒へのメール発信を 90 件以上 [94 件] ・アンケート(保護者)「進路指導・情報提供に関する肯定値」80%の維持向上 [88%]	

2 未来を担う「自律・敬愛・共創」を備えた人材育成	(1) 総合的な探究の時間を推進する ア「総合的な探究の時間」の推進	ア・学年、分掌、教科と連携して指導内容を充実する。 ・従来の取組みの検証を踏まえ、芸術鑑賞、地域探索、フィールドワークなどを企画し、充実を図る。	ア・計画立てた総合的な探究の時間を実施する。 [新規] ・全校講演会を1回実施。[1回]	
	イ キャリア教育、課題解決学習などを探究する	イ・総合探究でキャリア教育の取組みとSDGsの課題解決学習を計画的に推進する。 ・「花いっぱい为学校・清掃の行きとどいた学校」を目標に、『阿倍高を美しくする会』の支援とともに周辺地域のボランティア美化活動をより推進する。	イ・アンケート(教員)肯定値「キャリア教育」80%以上。[88%] ・総合探究にてSDGsの取組みが計画的に実施する。[100%] ・アンケート(生徒)「授業にふさわしい環境」肯定値80%以上。[92%] ・生徒自治会、同窓会、保護者、教職員が連携して年間5回の美化活動を推進する。[6回]	
	ウ 人権教育・道徳及び心の教育の充実	ウ 人権講演会など人間や生命及び自然を尊重する精神や規範意識、他人を思いやる心など人間性の教育を充実する。	ウ・拉致問題「めぐみ」鑑賞実施。[1回] ・アンケート(生徒)「豊かな心や生き方について考える機会がある」肯定値80%以上。[87%]	
	(2)国際交流活動を充実し、グローバル人材を育成する ア 海外高校生との交流活動	ア 国際交流委員会を中心として、海外高校生との交流活動やWEB交流等の機会を設ける。	ア・海外高校生との国際交流活動を3回以上実施。[3回]	
	イ 国際交流行事に取り組む	イ 全校、授業選択者、部活動、生徒自治会、有志など参加対象を工夫し、国際交流機会をたくさん設け充実させる。	イ 校内の国際交流行事を1回以上実施[2回]	
3 府民に信頼される魅力ある学校づくり	(3)読書活動を推進する 図書館の環境整備と読書活動の啓発活動を推進する	・図書館の整備事業をすすめ、より生徒が集まり工夫された図書館運営を推進する。 ・図書委員会を中心に読書活動の推進を図り、読書習慣の啓発活動や図書行事を行うなど取組みを実施し、読書習慣の推進をする。	・図書館だよりの定期的発行を維持する。[5回] ・年間貸出し冊数1000冊以上をめざす。[920冊]	
	(1) 生徒支援体制の確立及び生徒指導の充実 ア 支援相談委員会の充実	安全と安心を優先させて生徒満足度の向上を図り、授業と学校行事、生徒支援の各面で、より一層生徒の主体性を育み、意欲ある学校生活を促す。 ア・SC、SSWと連携し、教育相談体制を充実させ、個々の生徒及び家庭環境に対して、寄り添った指導を心がける。 ・支援を求めている生徒を早期発見・早期対応し、ニーズに合った支援を行い、関係機関とも連携して進める。	ア・アンケート(生徒)の「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」肯定値70%以上を維持する。[78%] ・支援相談委員会と支援が必要な生徒、保護者との連携を全教員で情報共有する機会を学期に1回以上設定。[学期に1回]	
	イ・生徒支援業務の充実	イ・自治会活動において生徒の主体性と自立性を向上させ、体育大会や文化祭等、学校行事の活性をめざす。 ・生徒自治会を主体にボランティア活動を実施し、あいさつ運動や美化活動を通して愛校心や仲間意識を育む。	イ・各行事で生徒アンケートを実施する。 生徒の満足度90%を維持する。[体育大会97% 文化祭94%] ・生徒自治会によるボランティアあいさつ運動や美化活動を1回実施。[1回]	
	・部活動の充実	・大阪府運動部活動の在り方に関する方針、学校部活動指針を厳守し、学業とのバランスのとれた部活動を推進する。	・適切な休養日及び活動時間設定など部活動年間・月間計画表を作成し、一人あたりの超過勤務数で前年度5%削減。[新規]	

府立阿倍野高等学校

	ウ 生活指導の充実	ウ・基本的生活習慣を涵養し遅刻指導を徹底する。 ・安全な通学、特に自転車通学の事故防止のための指導を充実させ、事故減少を図る。 ・自然災害への防災体制の強化及び防災教育を推進する。 ・安全点検を実施し、危険を排除する。	ウ・年間遅刻者数を1人1.5回以内めざす。 [3.9回] ・自転車通学生徒の交通法規遵守、マナーを向上し、年間事故0件をめざす。 [2件] ・防災教育を実施し、火災・地震等の災害避難訓練を1回以上実施する。 [2回] ・安全点検を実施し、アンケートを実施して問題点は迅速に対応する。 [3回] ・保護者から指摘件数0件をめざす。 [0件] ・アンケート(教員)「清掃や設備点検がいきとどいている」の維持。 [78%]	
	(2) 教職員の資質の向上と学校組織づくり ア 教職員の意欲向上と指導力向上	校内研修や授業見学等を実施し、個々の教員の指導力向上とより質の高い教育が提供できる学校づくりを行う。 ア・授業改善委員会中心に授業研究を進め、相互授業見学や校内研修で互いに研鑽し、各教員の指導力向上をめざす。	ア・アンケート(教員)「各分掌・学年間の連携が円滑に行われ、各種会議で教員間の意思疎通や意見交換を行い組織的に機能している」の向上。 [85%]	
	イ 組織力の強化	イ・学校組織を見直し、全教職員が公平性、適所に適性が発揮され、教職員全体で学校運営を行う意識を高め組織力を強化する。	イ・アンケート(教員)「授業方法について検討する機会や経験の少ない教職員をサポートする積極的な体制がある」の向上。 [55%]	
	ウ 働き方改革の推進	ウ・業務の効率化、在校時間等時間管理、ICT活用の推進など学校運営の見直しを図る。	ウ・安全衛生委員会を月1回継続し、時間外在校時間を減少し、前年度対比の減少する。[新規]	
	(3) 開かれた学校づくり ア 保護者と連携を推進する	保護者・地域へ情報発信し、保護者等のニーズを反映した開かれた学校づくりを推進する。 ア・保護者との意思疎通による連携を図る。 ・連携活動の理解及び協力を呼びかけ積極的に取り組む。	ア・各学年保護者会を年1回に実施する。 ・アンケート(保護者)で肯定値の向上。 [9%]	
	イ ・HP及びメール発信の充実 ・広報活動の充実	イ・HP、学習支援クラウドサービスを活用し、情報発信により開かれた学校づくりをする。 ・広報委員会を中心に「落ち着いた環境で学べる」強みを発信し、志願者数増につなげる。 ・積極的に地区学校説明会にも参加し、学校理解と広報活動を行う。	イ・アンケート(保護者)「HP、メルマガで情報提供されている」肯定値の向上。 [83%] ・HP更新回数を増加し、年150回更新する。 [125回] ・前年度志願者数を維持する。 [1.07倍] ・広報活動を積極的に行い、学校情報を情宣する。 [学校説明会3回、オープンスクール1回、校外説明会11回]	
	ウ 地域連携活動の充実	ウ 教科・授業、生徒自治会、部活動、有志生徒中心に地域行事やボランティア活動に積極的に取り組むことで地域交流を活発にする。	ウ・地域の方との交流回数30回以上をめざす。 [39回]	